



## ●環境保全型アスファルト防水工法

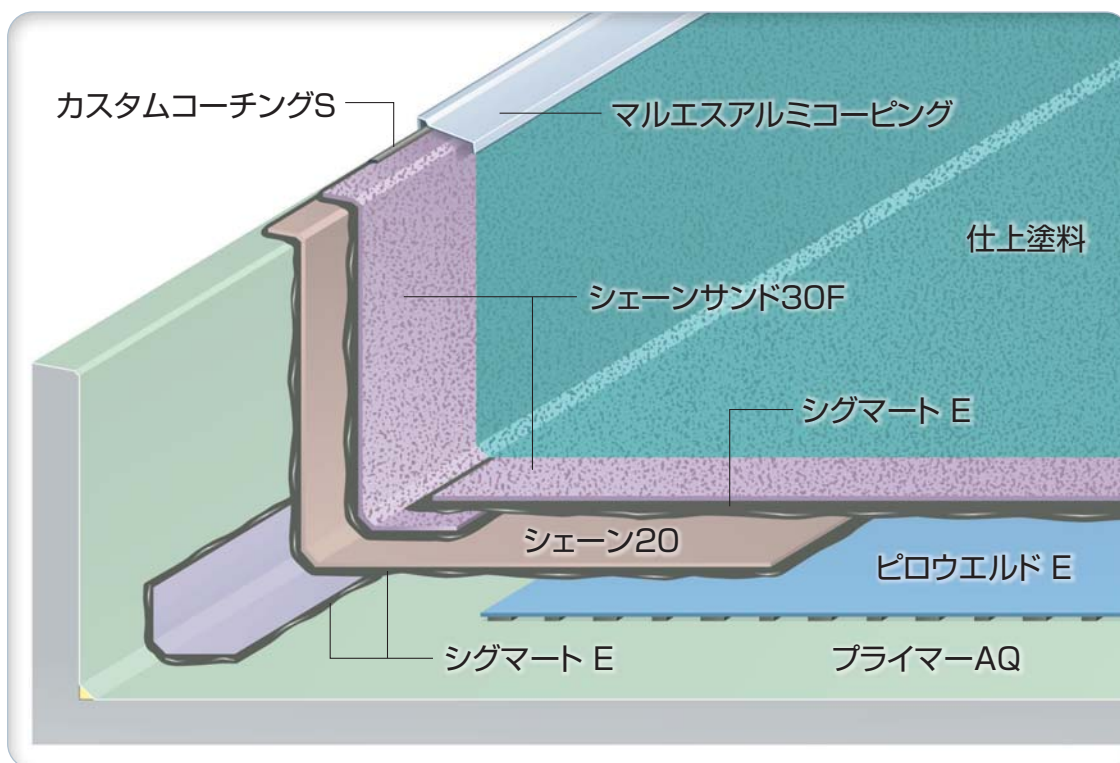
# ピロウエルド新熱工法

### 環境保全型アスファルト防水「ピロウエルド新熱工法」

ピロウエルド新熱工法は、粘着層付改質アスファルトルーフィング“ピロウエルドE”を最下層に採用することにより、工程数やアスファルトの使用量を削減し、さらに低臭・低煙タイプの防水工事用アスファルト「シグマートE」を標準使用した環境保全型のアスファルト防水工法です。

アスファルト防水の持つ高い信頼性はそのままに、施工性の向上と環境への負荷を低減させました。

従来のアスファルト防水熱工法では難しいとされていた、市街地の建物や室内の防水工事にも使用することができます。



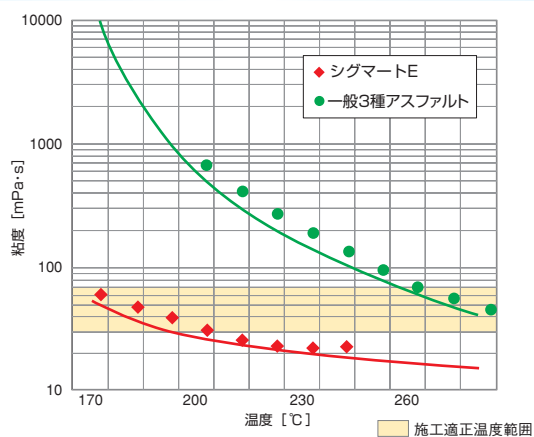
## 特徴

1. 改質アスファルトルーフィングをはじめ、各種アスファルトルーフィング類を環境保全型アスファルト「シグマートE」で積層一体化させる工法なので、水密性に優れた信頼性の高い防水層が得られます。
2. シグマートEは一般の工事用アスファルトよりも、施工適正温度が低いいため、燃料消費量や二酸化炭素の排出量が、従来工法よりも70%以上も低減されました。又、アスファルトの使用量も50%以上低減されているので、臭いや煙の発生も少なく施工現場周辺へ及ぼす影響も殆どありません。市街地の屋上や室内の防水工事にも安心して使用することができます。

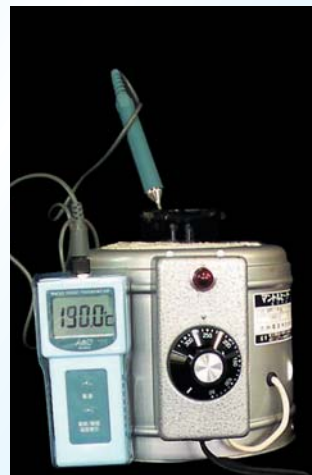
## 環境保全型アスファルト「シグマートE」

シグマートEは、施工適正温度が190℃と、従来の防水工用アスファルトよりもはるかに低い温度で施工することができます。そのため施工時の溶融に要する燃料消費量や二酸化炭素の発生量を大幅に低減することが可能になりました。また、臭いや煙の発生も大幅に低減されました。

### ■ アスファルトの施工適正温度



一般3種アスファルト (260℃)



シグマートE (190℃)

### ■ 建築工事監理指針（平成19年度版）では、次のように低煙・低臭タイプのアスファルトも紹介されています。

最近では、更に、低煙・低臭に対する要求が高まってきており、そのために、JIS規格品外ではあるが、環境対応低煙低臭型防水工用アスファルトが開発され、使われるようになってきた。このアスファルトは、溶融施工温度を更に低温にすることで、臭い、煙を大幅に低減したものである。

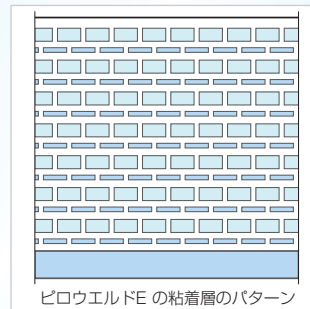
## ピロウエルド新熱工法用改質アスファルトルーフィング類

ピロウエルド新熱工法に使用するルーフィング類は、感温性や耐久性に優れた改質アスファルトルーフィングを主体に採用しています。

平場の最下層に使用する“ピロウエルドE”は、裏面にストライプ状の粘着層を設けた絶縁工法用の改質アスファルトルーフィングであり、45%の下地との接着面積を確保しながらも防水層の膨れを防ぎ、下地亀裂への追従性も向上させます。



粘着層のパターン



ピロウエルドEの粘着層のパターン

## 日本建築センターの建設技術審査証明書事業により、下記の事項が証明されています。

日本建築センターの建設技術審査証明書事業により、下記の事項が証明されています。

- 在来工法によるアスファルト防水と同等の防水性能を有しています。

ピロウエルド新熱工法	公共建築工事標準仕様書
FP-2、FP-3	A-1
FP-1	A-2
FPI-2、FPI-3	AI-1
FPI-1	AI-2
SP-2	D-1
SP-1	D-2

- アスファルトの使用量を削減し、作業・周辺環境に対する影響が軽減されます。
- 在来工法によるアスファルト防水と比較して、防水層の重量を削減すること、作業工程数の削減及び簡易化により作業効率が向上します。

